

「平和な世界、平和な沖縄」

読谷小学校 六年 福地 愛比

今から75年前、1945年3月26日沖縄戦が始まりました。

沖縄戦は、他県とちがひ地上戦という住民もまきこむ大きな戦争となりました。

私は、沖縄戦のことは、あまり知らなかつたので平和学習の時にネットなどで調べてみました。

そこで一番心に残っている記事は、戦争がまだ続いている時がマににげていた女の子におばさんがこう説明したそうです。

「ここは、お母さんにカマヤ包丁などで首をさされた子ども達がないでいる所である。ここは、どくの入ったちやう射をうつ所。」

と言われたそうです。私は、この記事をみて本当に戦争の恐ろしさ

が伝わりました。なんの罪のない子どもたちや他の住民がアメリカ軍にころされたり、アメリカ軍にころ

されたくないという心^ほうで自分達で集団じ
けつをしなくちゃいけないと考えると、戦争
は本当にしてはいけな^いと分かります。

次に、戦争の体験者とあつた時の話です。
その体験者に戦争中に落ちてきたばくだん
の玉を見せてくださいました。

それは、さきはどか^つており重くてあた^つ
たらとてもいたそうな物でした。これが空か
ら何個も落ちてきたと見えただけで、とてもあ
ぶないじょうきょうだと分ります。

私は、これらの体験を通して今の自分にで
きることは、戦争をなくして平和な世界を作
っていきたいです。

いま戦争が続いていて戦争のせいで家もな
くり食べ物もなくな^つて最後に家族もなくな^つ
ている人々に食べ物をあたえたり、ち^やんと
住める場所をいきよ^うしたりしてあげたり
したいです。

最後に、私は必ず戦争をしな^い世界、仲よ
く協力して助けあ^う世界にしたいです。その

ために、ぼくに協力したりいじめをなくして
いきたいてす。

みんなが平和な差別のないみんながふつう
に暮せる幸せに暮せる世界を作りましょう。